

リモコン自己点検機能付

(一般屋内用ダウンライト)

非常用照明器具
階段通路誘導灯 (兼用器具)

保管用

[電池内蔵形]



品番 LEDDJ-25051N LEDDJ-25051NV
LEDDJ-25051L LEDDJ-25051LV

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

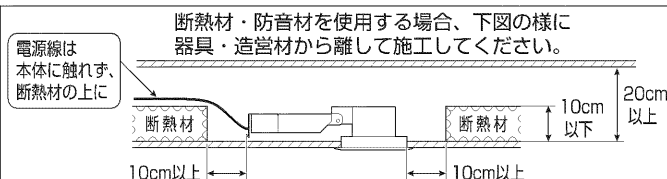
安全に関するご注意

警告

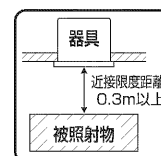
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。

火災の原因となります。

- ・住宅の断熱施工天井には使用できません。



- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)、周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると感電・火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。他の取付けはしないでください。落下の原因となります。
- 非常用光源部のレンズはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解したり火や水に投入しない。破裂・やけど・感電・火災の原因となります。
- 器具の取付部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。
- 必ず適合するLED電源ユニット(別売:適合品番はLED電源ユニット仕様欄参照)を使用する。火災・破損の原因となります。
- 器具と被照射物は0.3m以上離す。指定よりも被照射物が近づくおそれのある場所(ドア開閉範囲の上、家具の上、クローゼット・押入れの中等)では使用しない。過熱による火災の原因となります。
- 必ずリード線をLED電源ユニットに接続後、通電する。リード線を接続しないで電源を通電すると感電の原因となります。

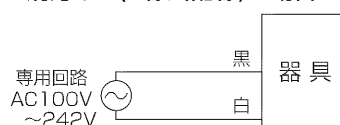


注意

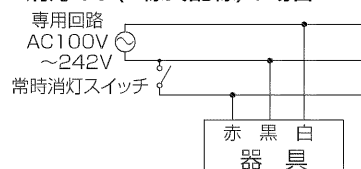
- この器具は一般屋内専用です。直射日光の当たる場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動の強い場所、外の風やエアコンの冷風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- ロックウールなどの柔らかい天井に取り付けしないでください。使用する場合は、天井裏面に石膏ボードなどで必ず補強してください。天井材損傷、器具ズレの原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。(一部の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます。また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。)
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや耐用年限が短くなったり、非常点灯しない原因となります。
- 寒冷地等で外気に通ずる場所に設置した場合、非常点灯時間が極端に短くなる恐れがあります。やむを得ず設置する場合は、非常点灯時間の点検を頻繁に行ってください。(少なくとも半年ごとの点検は必要) 自己点検用リモコン(別売)をご使用頂けると、点検が簡単となります。
- 階段通路誘導灯として使用される場合、常時、連続点灯してください。常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。消灯される場合は、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 電源と通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 48時間充電後、非常点灯の確認をしてください。充電しないと非常点灯しません。
- 器具の取り付け、取り外しは手袋などの保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

配線種類

A. 消灯なし(2線式配線)の場合



B. 消灯あり(3線式配線)の場合



取説No. NDTLG24605WK-TA

施工上のご注意

- ・取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。サビや変色の原因となります。
- ・照射距離が近い時や照射面によって、光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- ・通電した状態でコネクタの抜き差しをしないでください。故障の原因となります。
(通電した状態でコネクタを接続すると、二次側電流をストップする安全機能が働き、差し直しても点灯しません。一旦電源を切り再投入してください。)
- ・突入電流値は、定格欄に記載のとおりです。接続するスイッチの容量を確認の上、配線してください。

各部のなまえと取付方法

警告

- 施工は、施工説明にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- リード線の保護キャップを取り外した状態で通電しない。
感電の原因となります。
- リード線をLED電源ユニットの端子台に接続したあとに通電する。感電の原因となります。

- ・器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

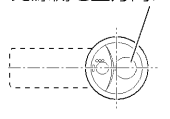
おすすめの取付方向

- ・一般照明器具と並べて使用の場合



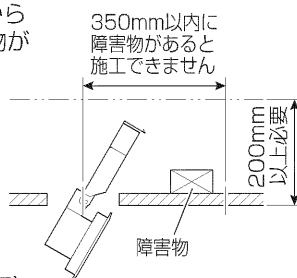
- ・壁の近くに
取り付ける場合

常用LED光源側を壁方向に



1 取付前の確認

- ・器具質量 (1.7kg : LED電源ユニット(別売)を含む) に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備があると器具ズレの原因となります。
- ・天井裏には埋込穴の中心から半径350mmの間に障害物がないことを確認する。
不備があると本体取付不具合の原因となります。
- ・LED電源ユニット(別売)が適合品番であることを確認する。
(裏表紙「定格」欄 LED電源ユニット品番 参照)

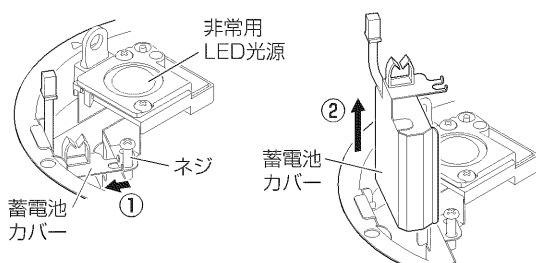


2 天井にφ150⁺⁴の埋込穴をあける

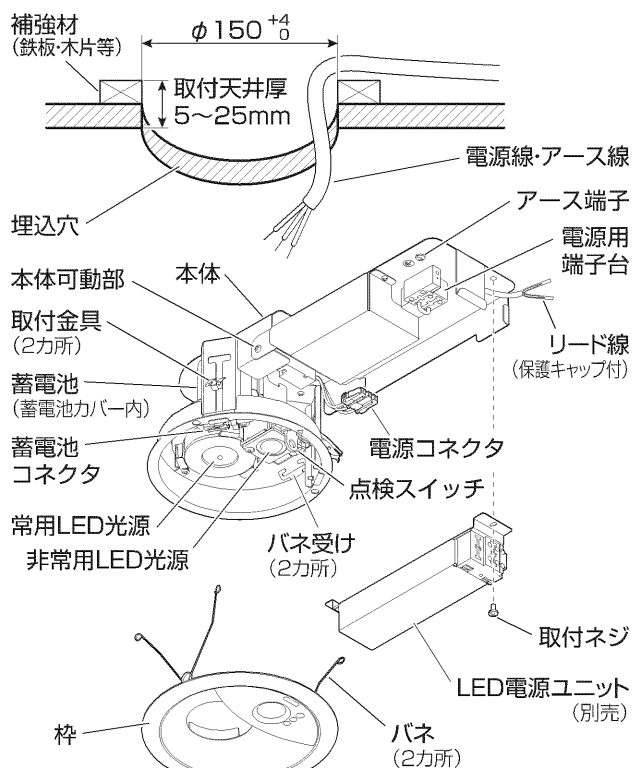
※精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

3 蓄電池カバーを取り外す

- ①ネジを緩めて蓄電池カバーをネジから外す。
- ②器具から蓄電池カバーを引き出す。



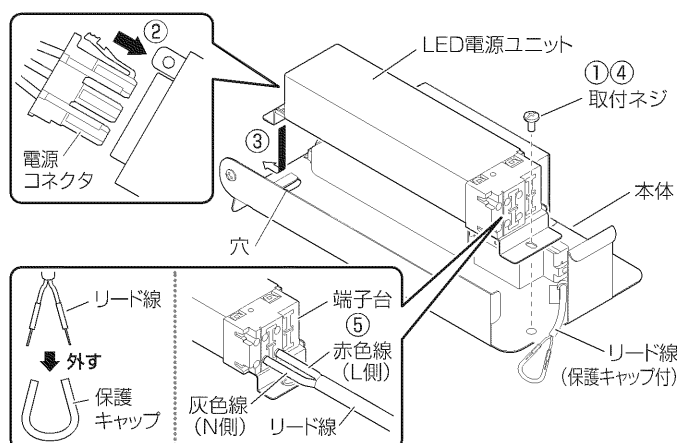
- ・ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れる。補強材のない場合、器具ズレ・光モレの原因となります。



4 LED電源ユニット(別売)を本体に取り付ける

※通電前に行ってください。通電した状態でコネクタを抜き差しすると故障の原因となります。

- ①本体から取付ネジを外す。
- ②LED電源ユニットに、電源コネクタを接続する。
- ③LED電源ユニット(電源コネクタ接続側)の先端を本体の穴に差し込む。
- ④取付ネジを締め付けて、LED電源ユニットを本体に固定する。
- ⑤LED電源ユニットの端子台に、本体からのリード線を差し込む。
・リード線の先端の保護キャップを外してください。



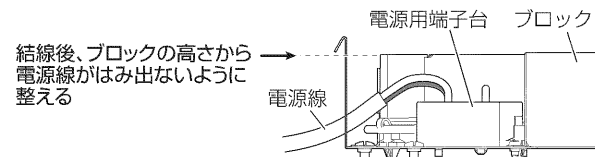
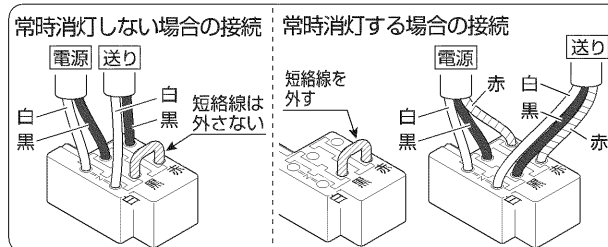
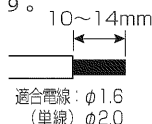
各部のなまえと取付方法 (つづき)

5 電源線・アース線を接続する

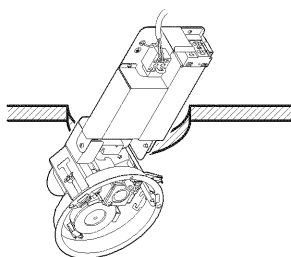
- 電源線は電源用端子台、アース線はアース端子に確実に接続する。
- この器具は、電源用端子台での送り配線が可能です。(端子台の送り容量は20Aです。)

接続が不完全な場合や接続を間違った場合や容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

- D種(第3種)接地工事が必要です。
- 接地が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 常時消灯する場合は、短絡線を外してください。
- 階段通路誘導灯として使用し、常時消灯する場合は、所轄消防署の承認が必要です。



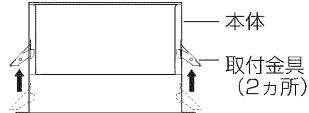
6 埋込穴に本体を挿入する



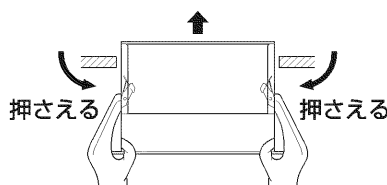
7 埋込穴に本体を取り付ける

- ① 取付金具が上の位置であることを確認する

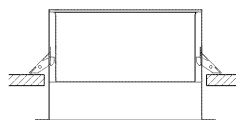
- 下がっている場合は押し上げてください。



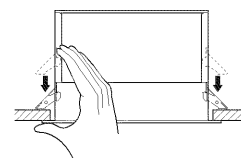
- ② 取付金具を押さえながら本体を埋込穴に挿入する



- ③ 仮止め状態にする

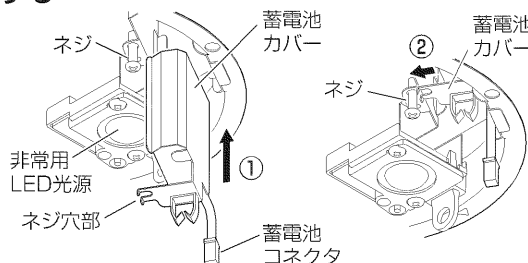


- ④ 取付金具を天井材まで引き下げ、本体を固定する



8 器具に蓄電池カバーを挿入する

- ① 蓄電池カバーを器具に差し込む。
- ② 蓄電池カバーのネジ穴部にネジに差し込み、ネジを締め付けて固定する。

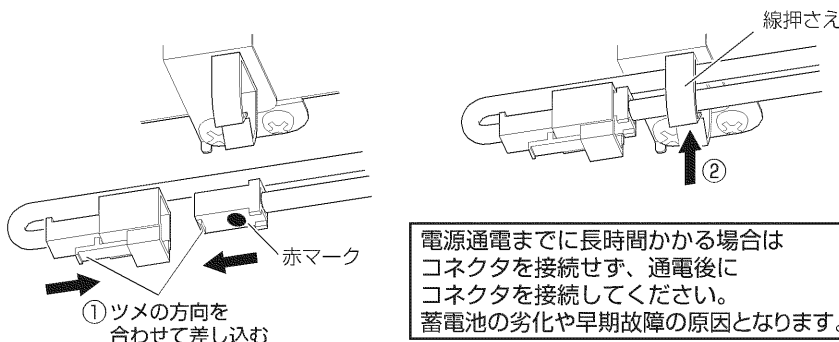


9 設置年マークの貼付け

- 器具内に貼付けられている設置年マークの該当する年度を、器具の外郭に貼り付ける。

10 蓄電池コネクタを接続する

- ① 蓄電池コネクタの方向を合わせ、確実に奥まで差し込む。方向を間違えると器具が故障します。接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。
- ② 線押さえに蓄電池コネクタのリード線をはめ込む。

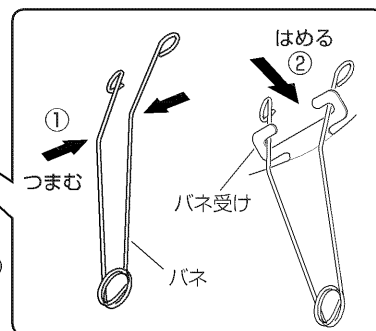
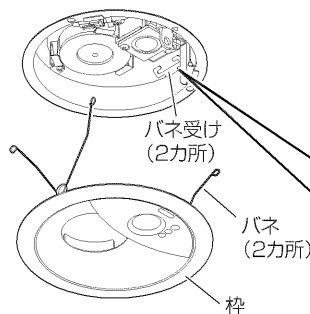
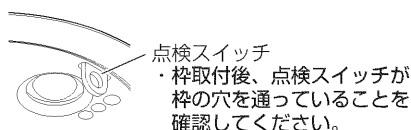


電源通電までに長時間かかる場合はコネクタを接続せず、通電後にコネクタを接続してください。蓄電池の劣化や早期故障の原因となります。

各部のなまえと取付方法 (つづき)

11 枠を取り付ける

- ・ 枠のバネを、本体のバネ受けに引掛ける。(2カ所)
 - ・ 枠を本体に押上げる。
- 引掛かり不備があると枠落下の原因となります。



12 点灯確認

- ・ 電源通電状態で常用LED光源および充電モニタが点灯するか確認する。
- ・ 常時点灯状態で点検スイッチを引き、非常用LED光源が点灯するか確認する。(充電モニタは消灯します。)

蓄電池は設置後通電し充電しないと定格時間非常点灯しません。

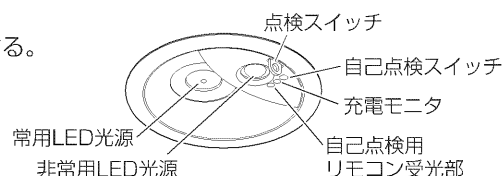
正常に動作しない場合は

故障かな?と思ったときは (7ページ) の項をご確認ください。

非常点灯中に蓄電池を外した場合、充電モニタが緑点滅する可能性がありますのでご注意ください。

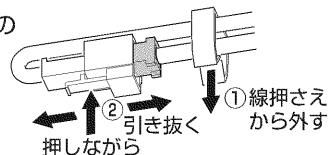
点灯確認後、長時間電源を通電しないときは蓄電池を外してください。

蓄電池の劣化や早期故障の原因となります。



蓄電池コネクタの解除方法

注) リード線を引っ張らないでください。



取扱説明

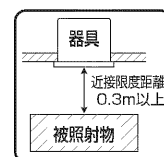
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具と被照射物は0.3m以上離す。指定よりも被照射物、可燃物等(ドア開閉範囲、家具、布、紙等)を近づけない。過熱による火災の原因となります。
- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすい物でおおわない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 充電モニタ(緑色)が点滅している場合、通電状態で蓄電池を交換してください。通電状態でない場合、充電モニタ(緑色)の点滅が正常(点灯状態)に戻りません。
- 製品に衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- 蓄電池を加熱したり、火や水に投入しない。破裂する危険があります。
- 蓄電池を分解しない。やけど・感電の原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 落下した蓄電池は使用せず、回収をリサイクル業者に依頼する。但し、落下した際にケースが破損した場合は、電極部と金属部分が接触しないよう電気絶縁用ビニルテープで絶縁し、各自治体のルールに従い、廃棄物として処理する。不備があるとショートによる破裂・やけど・感電・火災の原因となります。



注意

- 光源として高輝度LEDを使用しています。長時間の直視は避けてください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には耐用年限があります。(*1) 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 1年に1回は自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検を受けてください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 長時間器具を使用しない場合は、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や早期故障の原因となります。

*1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り換え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。使用条件は周囲温度30℃です。

■ LED照明器具の光束維持時間は40,000時間(光束維持率85%)です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合など耐用年限が短くなります。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。

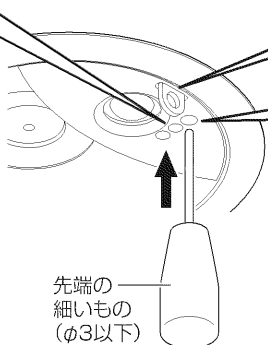
モニタと自己点検スイッチについて

充電モニタ（緑）

蓄電池が充電されているか確認できます。
また自己点検「可」のお知らせをします。

	緑色点灯	正常です。
	点灯しない	- 蓄電池が充電されていません。 - 非常点灯になっていないか、または、蓄電池が外れていないかを確認してください。 - リモコンの「点検」スイッチまたは「確認」スイッチを押した場合、点検「不可」をお知らせします。
	緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。 蓄電池の容量低下や異常を緑色点滅でお知らせします。
	約1秒間緑色点滅（4回）	リモコンの「確認」スイッチを押した場合点検「可」をお知らせします。

注) 充電モニタの点灯確認時は、常時LED光源の光を直視しないでください。
(常時消灯スイッチにより常時LED光源を消灯するか、常時LED光源の前で手をかざす等、対策してください。)



点検スイッチ

自己点検スイッチ

- 蓄電池の容量確認検査が行えます。
(判定に30分かかります。)
- 先の細い(φ3以下)物で2秒以上押すと検査を開始します。
(充電モニタ(緑)が消灯します。
検査終了後は自動的に復帰します。)
- 自己点検スイッチの動作には、48時間以上の充電が必要となります。
(48時間以内に、3秒以上の停電・非常点灯があった場合は点検動作しません。)

自己点検用リモコンについて

適合リモコン品番：FSK90910K（別売）
(パナソニック製)

スイッチ各部の名称と働き

「中断」スイッチ

点検動作を中断し、
通常状態に復帰させる
ときに使用します。

①「確認」スイッチ

非常灯器具が48時間の
充電が完了しているか
を確認するときに使用
します。



チャンネル

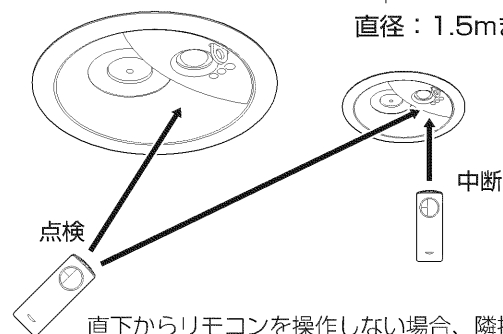
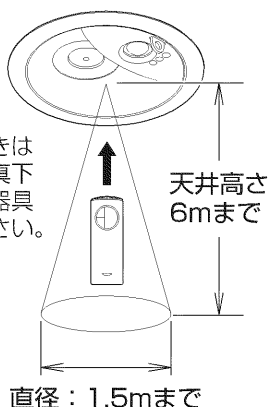
使用時、チャンネルは
「2」にセットして下さい。
(チャンネル「1」は
誘導灯用です。)

②「点検」スイッチ

定格時間の非常点灯確認を
開始します。
(器具本体の自己点検
スイッチを押したとき
も同様です。)

リモコン操作エリアについて

リモコンを操作するときは
点検する非常灯器具の真下
からリモコンを非常灯器具
に向けて送信してください。



直下からリモコンを操作しない場合、隣接する器具も
受信してしまうことがあります。その際は隣接する
器具の直下から、リモコンの「中断」スイッチを
押して点検を中断してください。

注) 中断した場合は、再度48時間充電が必要です。

注) 充電モニタの点灯確認時は、常時LED光源の光を直視しないでください。
(常時消灯スイッチにより常時LED光源を消灯するか、常時LED光源の前で手をかざす等、対策してください。)

リモコンによる点検方法

- チャンネルを「2」にセットしてください。
(チャンネル「1」は誘導灯用です。)
- 充電モニタ(緑)が点灯していることを確認してください。

1 リモコンの「確認」スイッチを押してください。

【器具本体の充電モニタを確認してください】

- 充電モニタ(緑)が約1秒間点滅(4回)
⇒ 点検準備が出来ています。②に進んでください。
- 充電モニタ(緑)が約1秒間消灯
⇒ 点検準備が出来ていません。48時間以上充電してください。

2 リモコンの「点検」スイッチを押してください。

【器具本体の充電モニタを確認してください】

- 充電モニタ(緑)が消灯(非常点灯に切り換わります)
⇒ ③に進んでください。

3 蓄電池の容量確認が行えます。(判定に30分かかります。)

【器具本体の充電モニタを確認してください】

- 充電モニタ(緑)が点灯 ⇒ 正常です。
- 充電モニタ(緑)が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。

- 途中で点検を中断する場合、
リモコンの「中断」スイッチを押してください。

【器具本体の充電モニタを確認してください】

- 充電モニタ(緑)が点灯(通常状態に戻ります。)

リモコンスイッチと器具状態の対応表

	器具の状態		
	充電中 (充電時間48時間未満)	充電完了状態 (充電時間48時間以上)	点検中
「点検」 スイッチ	充電モニタ(緑) 約0.5秒間消灯 (光源が点灯)(注)	点検開始 (充電モニタ(緑) 点灯⇒消灯)	— (充電モニタ(緑) 消灯したまま)
「中断」 スイッチ	— (充電モニタ(緑) 点灯したまま)	— (充電モニタ(緑) 点灯したまま)	点検中断 (充電モニタ(緑) 消灯⇒点灯)
「確認」 スイッチ	充電モニタ(緑) 約1秒間消灯 (注)	充電モニタ(緑) 約1秒間点滅(4回) (注)	— (充電モニタ(緑) 消灯したまま)

— の場合は充電モニタの状態に変化はありません。

(注) リモコンスイッチを押し続けると上記の状態を繰り返します。
(例：「確認」スイッチを押し続けると、充電モニタ(緑)が点滅し続けます。)

使用上のご注意

- ・LED素子にバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・電源を通电しないまま蓄電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。
- ・長時間使用しない場合は、蓄電池を外して保管してください。
- ・点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・部品の交換について……下記の指定された部品を使用してください。

【交換部品】 蓄電池 FK739 (3.6V 1450mAh) (パナソニック製)

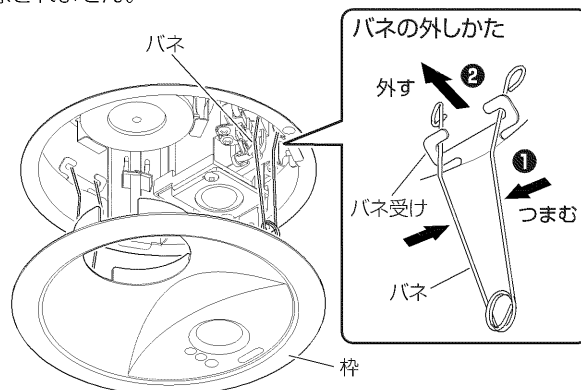
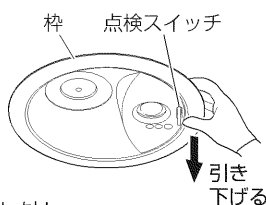
蓄電池交換方法

- ・充電モニタ(緑)が点滅している場合、通电状態で蓄電池を交換してください。
点滅が解除されます。
無通电状態で蓄電池を交換した場合は充電モニタ(緑)の点滅が解除されません。
- ・3線式配線の場合、常用LED光源の電源(壁スイッチなど)を切って作業してください。
2線式配線の場合、常用LED光源が点灯したままとなりますのでご注意ください。また、手袋などの保護を使用し直接光源部に触らないなど安全に配慮ください。

1 枠を仮吊りする

- ・枠の点検スイッチ付近に指を掛け、天井面から枠を引き下げる。
バネをバネ受けから外し(1カ所)、枠を仮吊りする。

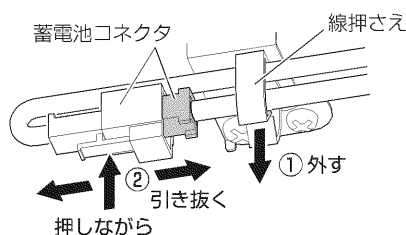
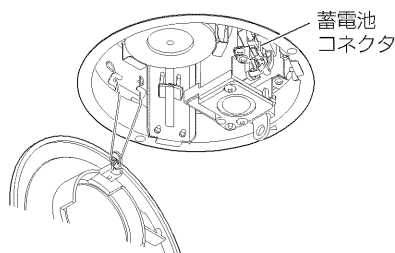
注) 作業しにくい場合はバネを2カ所とも外し、枠を完全に取り外してください。



2 蓄電池コネクタを抜く

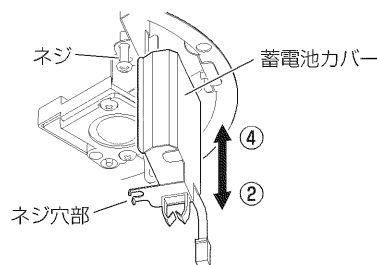
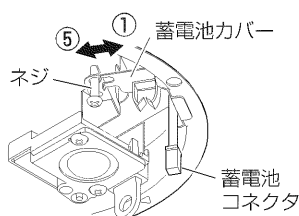
注) リード線を引っ張らないでください。

- ①線押さえから蓄電池コネクタのリード線を外す。
- ②コネクタを引き抜く。



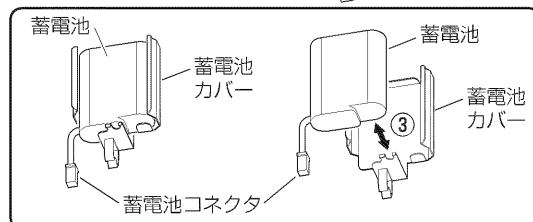
3 蓄電池を交換する

- ①ネジを緩めて蓄電池カバーをネジから外す。
- ②器具から蓄電池カバーを引き出す。
- ③蓄電池カバーから古い蓄電池を取り外し、右図の向きで新しい蓄電池を取り付ける。
- ④蓄電池カバーを器具に差し込む。
- ⑤蓄電池カバーのネジ穴部をネジに差し込み、ネジを締め付けて固定する。



4 電池交換年マークの貼付け

- ・新しい蓄電池に同梱されている電池交換年マークの該当する年度を、設置年マークの近傍に貼り付ける。



5 蓄電池コネクタの接続・枠の取付・点灯確認

- ・3～4ページ

各部のなまえと取付方法 手順 10～12 参照。

警告

- 感電のおそれあり
器具清掃時は、必ず電源を切ってください。
(非常点灯します。)

◆点検実施のお願い 電池内蔵形器具は性能維持のため、6ヶ月に1回は非常点灯への切り替え、非常点灯時間の確認を必ず行ってください。
 (常に適正な状態に維持するために、法令*で定められた定期の点検に加え、上記点検の実施をお願いします。非常点灯が極端に短くなるおそれがあります。)
 ※誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められています。

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

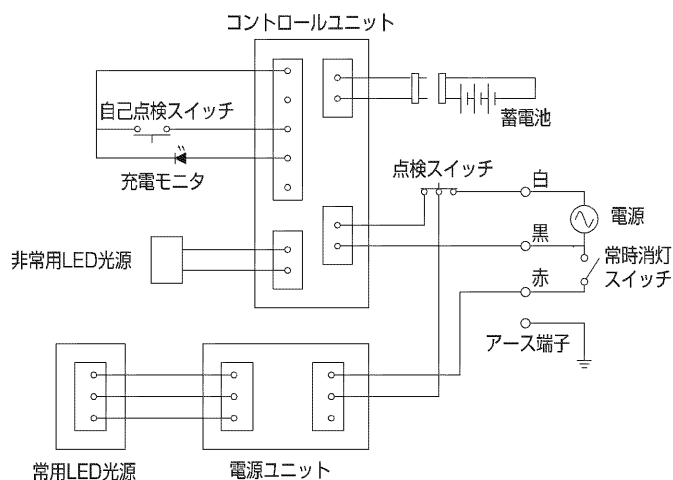
点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現 象	考えられる原因	処 置
常用LED光源が点灯しない	常時消灯スイッチがOFFになっている	常時消灯スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する
短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
充電モニタが点滅している	蓄電池の寿命	通電状態で蓄電池を交換する
充電モニタが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない	2秒以上押す
	48時間以上充電していない	48時間以上充電する
	48時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった	
	48時間以内に蓄電池コネクタを外した	
リモコンの点検スイッチが動作しない	48時間以上充電していない	48時間以上充電する
	48時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった	
	48時間以内に蓄電池コネクタを外した	

接続図



仕様

■仕様

器具品番		光色
枠：ホワイト	枠：シルバーメタリック	
LEDDJ-25051N	LEDDJ-25051NV	5000K
LEDDJ-25051L	LEDDJ-25051LV	3000K

■定格（LED電源ユニットと組合せた場合）

LED電源ユニット品番	組み合わせ本体	識別記号	定格電圧	周波数	定格消費電力	入力電流	突入電流
LEK-4R6016A010	60形 100形 150形 200形 250形 兼用 非常用器具	A0	AC100V	50/60Hz	5.6W	0.062A	12A
			AC200V		5.9W	0.051A	
			AC242V			0.050A	
LEK-7R6016A010		A2	AC100V		8.6W	0.091A	12A
			AC200V		8.9W	0.061A	
			AC242V			0.057A	
LEK-124016A010		A4	AC100V		13.4W	0.135A	12A
			AC200V		13.7W	0.079A	
			AC242V			0.072A	
LEK-155016A010		A6	AC100V		16.5W	0.165A	12A
			AC200V		16.8W	0.093A	
			AC242V			0.083A	
LEK-193016A010		A8	AC100V		20.3W	0.206A	12A
			AC200V		20.6W	0.110A	
			AC242V			0.097A	



Ni-MH

この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または“一般社団法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。

■リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。（ニッケル水素電池は上記対応をお願いします。）

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm

修理サービス規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より（引き渡し日）3年間です。
但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用

Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048

（通話料：無料）

携帯電話 046-862-2772 （通話料：有料）

FAX 0570-000-661 （通信料：有料）

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

KE1025-00